

- GX、DXの進展等に伴い需要の増加が見込まれるとともに、エネルギー安全保障の重要性が高まる中で、事業者や需要家の「選択」や「競争」を通じた創意工夫を最大限に生かしつつ、安定供給の確保・脱炭素化・安定的な価格水準での電気の提供を実現する観点から、電気事業の制度整備と電力産業の在り方の検討を一体的に進めていく。**

1. 電力システム改革の次のフェーズに向けた電気事業の制度整備

（１）供給力確保

①電源投資に係る事業環境整備・電源の脱炭素化

- ・長期脱炭素電源オークションの見直し（インフレや金利変動に対応する自動補正、制度変更等に伴う事後的な費用増加に対応する仕組みの導入 等）
- ・中長期取引環境の整備（後掲）

②中長期的な需給・系統状況を踏まえた供給力の確保

- ・将来の電力需給に関するシナリオの策定・更新
- ・中長期的な需給・系統状況の見通しに沿って供給力を確保する仕組み
- ・容量市場の指標価格見直し、補修時期等の調整を求める実効的な仕組み 等

③安定供給に必要な燃料の確保

- ・燃料の契約実態や需給リスクの継続把握、必要な量の確保策の検討

（２）電力ネットワークの次世代化

①系統整備に係る事業環境整備

- ・値差収益の取扱いの見直し（交付より貸付けを優先 等）
- ・託送費用の前倒し回収措置
- ・コスト増加時の回収予見性を高めるガイドライン策定 等

②地内系統の先行的・計画的な整備

- ・先行的・計画的整備に向けた計画を策定・確認の上で、貸付け対象に

③大規模需要の適切な系統接続に向けた対応

- ・接続可能エリアの情報公開、条件付での早期連系、GX政策による立地誘導
- ・送電容量の「空押さえ」への対応（系統接続に係る手続期限の設定、最終需要規模への契約電力の引上げ要件化 等）

電源・系統への投資に対する公的ファイナンスの整備

- ・電力広域的運営推進機関による、長期・大規模な電源や系統整備への融資スキームを創設（財政融資の活用を検討）

（３）事業者の創意工夫と規律を両立する電力取引環境の整備

①小売電気事業者の安定的な事業実施の確保

- ・小売電気事業者の量的（kWh）な供給能力確保【継続検討】
- ・正当な理由なく休眠状態にある事業者の登録取消の仕組み創設 等

②中長期取引環境の整備

- ・小売電気事業者の中長期での供給力の安定的な調達、発電事業者の電源投資や燃料調達に係る予見可能性の向上等を図る中長期取引市場の整備
- ・中長期取引市場の導入に向けた、市場運営の健全性を担保する仕組み、商品設計、入札方法等の整理

③短期の電力取引を最適化する市場の整備

- ・需給調整市場の運用改善（適正な競争の確保、市場運営の健全性の担保）
- ・電力と調整力を同時に取引・約定する同時市場の導入に向けた詳細設計

④経過措置料金の在り方に関する検討

- ・外生的な要因、現行制度が想定していない制度等による費用変動への対応

⑤非化石証書の更なる活用の推進

- ・非化石価値の適正な取引環境の整備や証書の利便性向上に向けた対応

⑥GX-ETSへの対応（発電ベンチマークの設計等）

2. 次世代の電力産業の在り方【継続検討】

（１）ステークホルダーの期待も踏まえた事業展開の推進

- ・垂直連携・水平連携・多角化の方向性の検討（電源・系統への効率的な投資の実現、電力産業の国内外への展開 等）
- ・分散電源の活用の推進（DER-WGの設置）等

（２）GX戦略地域制度と連携した次世代電力システムの構築

- ・効率的な電源の活用・系統整備と脱炭素電源を活用する産業促進のためのGX戦略地域制度（DC集積型、脱炭素電源地域貢献型等）との連携、内外無差別との関係整理 等

（３）次世代の電力産業を支えるサプライチェーン・人材の確保

- ・産業におけるサプライチェーン・人材の現状調査・分析、海外における状況の調査
- ・サプライチェーン強靱化・人材確保に向けた打ち手の検討 等